

留学生の声エッセイ 別科 リンコウカ（林 浩禾）

「別科の留学生活」

みなさん、こんにちは。リンコウカと申します。淡江大学日本語学科の3年生です。今は台湾から城西大学の別科に一年間交換留学をしています。

別科は外国人のために創立された学科です。特に私のように初めて日本に来る外国人にとって本当に助かりました。

別科の先生たちは丁寧な説明をしてくれるので日本特有の文化が理解しやすく、日常生活の悩み相談もオーケーなので、一ヶ月ぐらいの間で日本の生活に慣れました。

別科の主な授業は日本に関することです。例えば文化、言語表現、国際政治、日本の経済史などです。本から日本のことを学ぶだけではなく、教室から離れて、自ら体験する活動もあります。例えば企業見学と和紙製作活動などです。さまざまな活動で印象深かったのは三島食品株式会社のふりかけ工場見学と小川町の和紙見学でした。

まずは「三島食品のふりかけ工場見学」です。機械化生産技術とグラフと組み合わせ、最初の生産から最後の売り高までは全部見せてくれました。色々なことが勉強になりましたが、私にとって一番大事なことは「有名な会社をどのように維持するかということと日本特有な企業文化を学ぶこと」です。これは本には載っていない知識です。もし参加しなければ、この知識は一生かけてもわからなかったかもしれません。

もう一つは埼玉伝統工芸会館での和紙見学イベントです。ここでは、ただ製作手順を紹介してもらうだけではなく、自ら和紙を製作することもできました。普段使っている西洋紙と比較して、和紙のメリットも紹介しました。

和紙は世界中で唯一無二な物です。つまり日本にとって、和紙は重要な文化財産です。今回こんな近い距離で文化財産を見たことは初めてだったので、本当に嬉しく思いました。

最後の段落で感謝の言葉を言いたいです。

今までの日本の生活でたくさんの人たちが助けてくれました、例えば城西大学の優しい先生たちと JIST メンバーとサークルメンバーなどです。みんなのおかげで、一ヶ月ぐらいの時間でだんだんに日本の生活に慣れるようになりました。こんなに早く短い時間に海外生活を慣れることにもびっくりしました。

今、自分の気持ちを一言でまとめると「今までありがとうございます。日本のみんなが大好きです!」留学の感想は以上です。

後は自分の日本生活にとって大切な思い出の写真です。



ふりかけの三島食品（坂戸市）



晴雲酒造の酒蔵見学（小川町）



埼玉伝統工芸会館（小川町）



和紙の制作工程